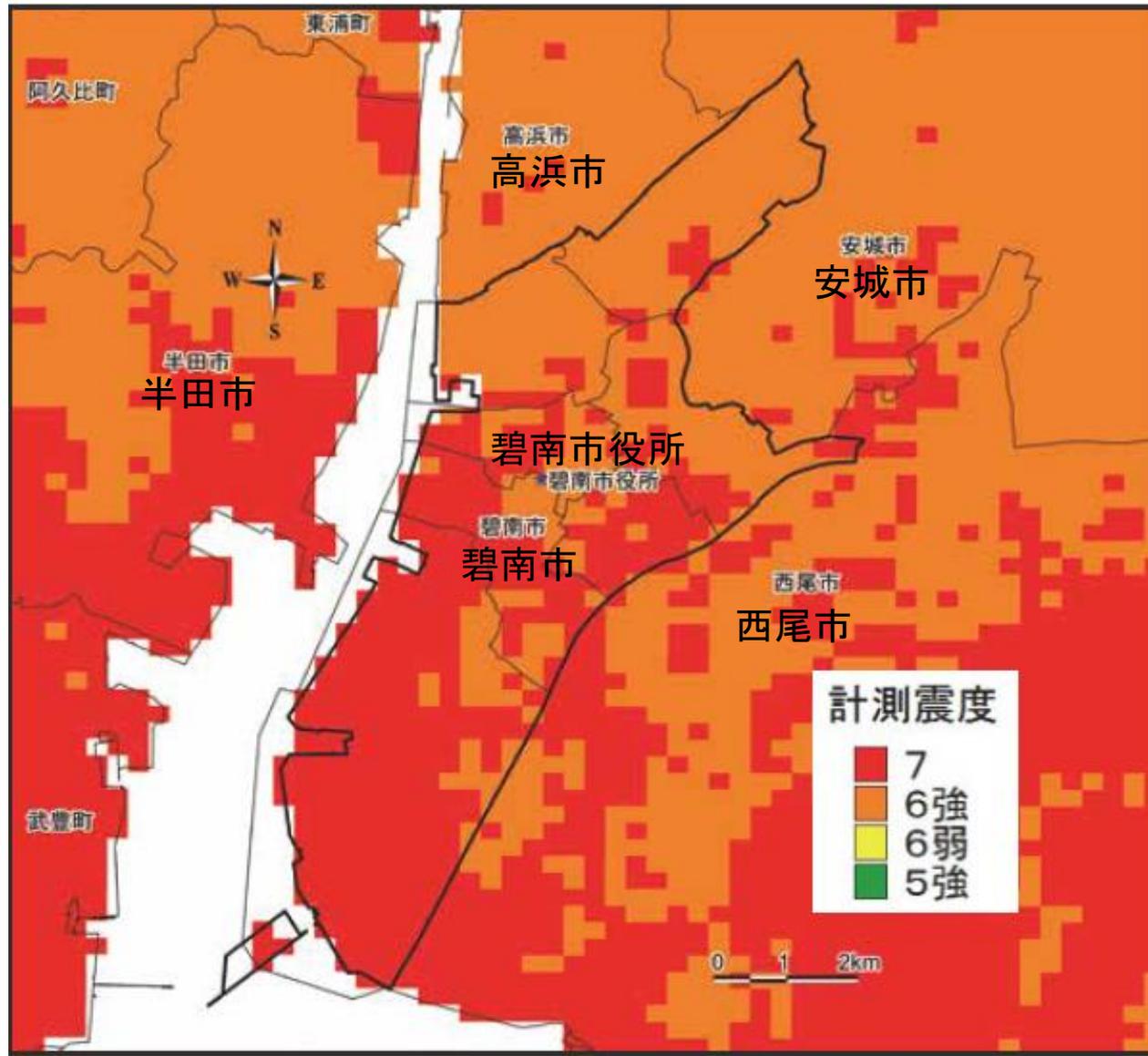


# 「避難所で求められる**共助**」

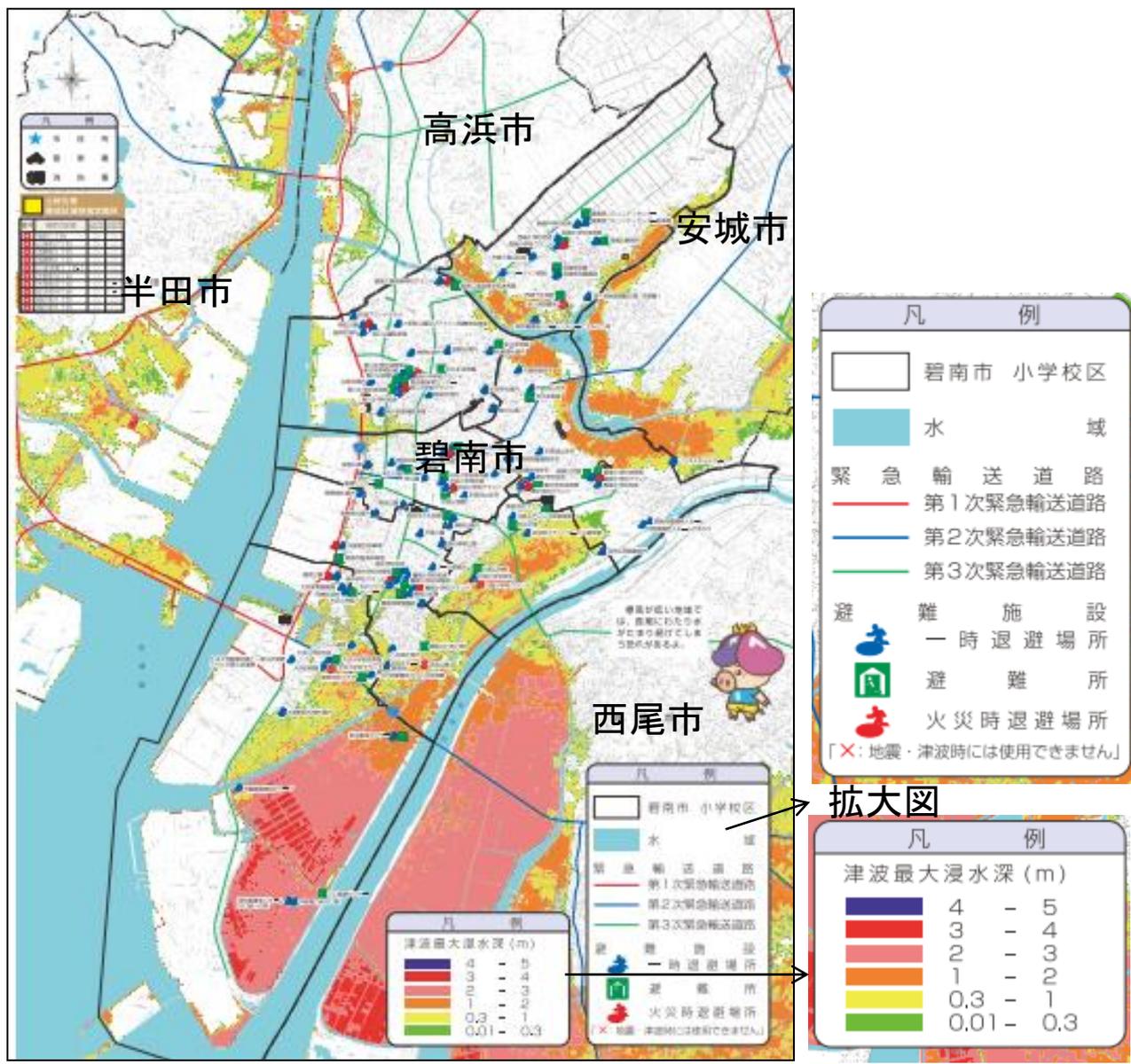


危機管理教育研究所 代表  
危機管理アドバイザー 国崎 信江  
<http://www.kunizakinobue.com>

# 碧南市の震度分布図 (碧南市地震ハザードマップ「理論上最大想定モデル」)



# 津波最大浸水深分布図理論上最大モデル（碧南市地震ハザードマップ）



# 碧南市の地震被害想定（碧南市地域防災計画令和2年度）

想定地震		南海トラフ 巨大地震 「過去地震最大モデル」	南海トラフ 巨大地震 「理論上最大 想定モデル」	
最大震度		7	7	
人的被害	死者	264人	約1,200人	
	内訳	建物倒壊	約600人	
		津波・浸水	約400人	
		地震火災	* 約200人	
建物被害	全壊	4,599棟	約15,000棟	
	内訳	ゆれ	2,015棟	約10,000棟
		液状化	21棟	約20棟
		津波・浸水	238棟	約100棟
		地震火災による焼失	2,325棟	約5,200棟
その他	避難者総数	23,070人	—	
	帰宅困難者数	約5,400人 ～5,500人	—	

—印は記載なし

# 行政依存の防災では被害を減らせない

碧南市

人口	世帯数	行政職員数 (内:防災担当者 数)	救急車台数	避難所数
72,765人 令和3年4月1日現在	29,498世帯	530名 防災課(11名) 約137人に1人	3台	35施設

## ” 災害に強い街であるかを評価する “

- ①  自宅の耐震化    家具固定    自然災害共済・保険に加入  
 防災訓練の参加率が高い

👉 自宅で継続して生活できる住民が多ければ災害に強い街と言える！

- ② 自主防災組織を含む地域の防災活動が活発

👉 死者ゼロを目指す！自主的な避難所運営もできる

# 自主防災組織こそが地域の災害対応の鍵となる

## 【地区防災計画の作成】

災害が発生した際の防災活動についての準備と災害時の**行動計画**の作成

⇒災害時の役割ごとに班を編成する**組織づくり**をしたうえで「平時の活動と災害時の行動」を明確にする

## 「災害時要配慮者への対応」

高齢者、障がい者、病弱者、乳幼児、妊婦、外国人観光客など避難行動に大きな困難を伴う人を言う。

⇒観光客を除く地域の要配慮者については**市町村が避難行動要支援者名簿を作成**。本人の同意を得て自主防災組織は**情報共有**できるよう情報の管理体制を確立し、支援のための訓練、体制を整えておく

# 地区防災計画に盛り込むべき防災活動の例

①平常時	②発災直前	③災害時	④復旧・復興期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練、避難訓練（情報収集・共有・伝達訓練を含む）</li> <li>・活動体制の整備</li> <li>・連絡体制の整備</li> <li>・防災マップ作成</li> <li>・避難路の確認</li> <li>・指定緊急避難場所、指定避難所等の確認</li> <li>・要配慮者の保護等地域で大切なことの整理</li> <li>・食料等の備蓄</li> <li>・救助技術の取得</li> <li>・防災教育等の普及啓発活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集・共有・伝達</li> <li>・連絡体制の整備</li> <li>・状況把握（見回り・住民の所在確認等）</li> <li>・防災気象情報の確認</li> <li>・避難判断、避難行動等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の安全の確保</li> <li>・出火防止、初期消火</li> <li>・住民間の助け合い</li> <li>・救出及び救助</li> <li>・率先避難、避難誘導、避難の支援</li> <li>・情報収集・共有・伝達</li> <li>・物資の仕分け・炊き出し</li> <li>・避難所運営、在宅避難者への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災者に対する地域コミュニティ全体での支援</li> <li>・行政関係者、学識経験者等が連携し、地域の理解を得て速やかな復旧・復興活動を促進</li> </ul>
<p style="text-align: center;">・消防団、各種地域団体、ボランティア等との連携</p>			

陸前高田市のように行政職員が  
いなくても  
住民が主体となって機能的に避難  
所運営するには

**FMB**が効果的



『災害時において**担当に関わらず、誰であってもその場に**いる人が**迅速かつ確実な初動期のオペレーションを実現するための方法**』

災害対応の組織と担当者の役割を明確にしても、発災時は計画通り本部要員が速やかに集まれないこともあります。そんなとき、所定の場所に置いたボックスを駆けつけた人が開け、そこにある指示カードに従って行動します。指示カードは、誰であっても実行できる簡単な作業であり、何をすれば良いか一目でやるべきことがわかるように記載されています。

『本部要員が参集するまでの貴重な初動時間を、その場に**いる人で有効に対処するための行動を可能にするツール**』

<http://fmbox.jp/>（公式HP）

# FMBOXは長野県飯田市立病院から誕生した

本部での活動開始時に行うべきこと "HeLP-SCREAM"

**H**ello: 挨拶

**L**ocation: 場所の確保(本部, 救護所)

**P**art: 役割分担

**S**afety: 安全確認

**C**ommunication: 連絡手段の確保

**R**eport: 上への報告

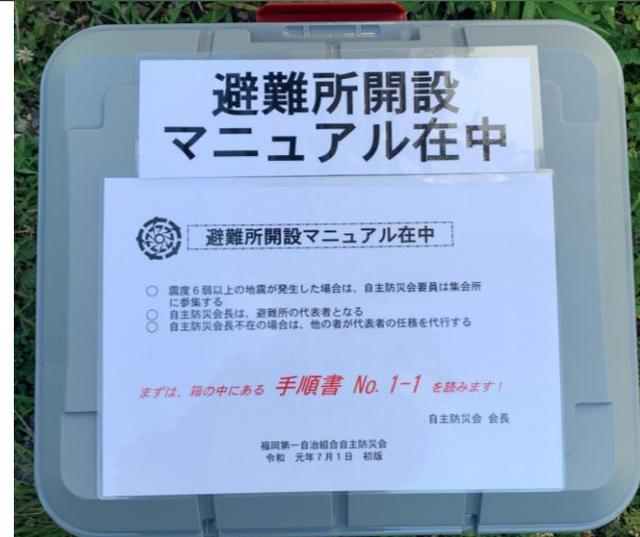
**E**quipment: 物品準備

**A**ssessment: 評価(人・物の過不足)

**M**ETHANE: METHANE情報の発信



# 多様なFMBOX



# 避難所開設・運営の手順書（ファーストミッションボックス）の導入について

## 避難所に着いたあなた、どうする!?

発災後、本格的な避難所の運営が始めるには準備が必要ですが、市の職員は数人しか来ないため、避難者の協力が不可欠です。その初動となる内容をファーストミッションボックスを活用することで実現できるようになります。

## ファーストミッションボックスとは

避難所に集まった避難者が自分たちで迅速かつ適確な避難所開設と運営が行えるように、初めに（ファースト）やるべき任務（ミッション）を記載した指示書と、最低限必要となる資材を入れた箱（ボックス）です。

不安な状況でも経験や知識がなくても誰でもやれるよう、箱を開け、指示書を読んだだけで分かるように具体的な指示が書かれています。

箱は避難所の入り口屋外に設置しており、鍵はしていないので誰でもあけることができます。

## ファーストミッションボックスイメージ

### 【内容物】

- ・手順書 ・油性ペン
  - ・不織布ベスト
  - ・マスク ・軍手 ・ヘルメット
- などを袋に入れて、箱に入れます



## 班の役割

一番初めに来た避難者

### ①【本部長】

指揮・避難者誘導

- ・各班へ指示
- ・避難者の整理誘導
- ・避難者への状況説明
- ・本部班始めは4人

次いで来る避難者に割り振る

### ②【安全班】

施設の安全確認

- ・施設の内観外観確認
- ・チェックリストで確認
- ・建物に倒壊などの恐れがないか
- ・始めは2人

### ③【住居班】

避難者住居区画設営

- ・避難所の清掃
- ・避難者の住居区画設営
- ・避難区画の受付
- ・靴袋の配布
- ・始めは5人

### ④【検温消毒班】

避難者の検温消毒

- ・施設入り口で検温と消毒を行う
- ・健康な人と発熱等ある人の仕分け
- ・感染症等の予防対策
- ・始めは3人

### ⑤【トイレ班】

簡易トイレ設営

- ・施設外に簡易トイレを組み立てる
- ・資機材倉庫からトイレ資材を運ぶ
- ・トイレの立ち番
- ・始めは3人

避難する避難所を決め、設置してあるファーストミッションボックスを使った訓練をお願いします

碧南市が作成したFMB説明動画をご覧ください



# 市民による避難所開設の手順書

音声：音読さん

令和3年6月  
碧南市防災課

最初にこの箱を開けた方はこれを読む

# 《地震災害》 避難所開設・運営の手順書

～本部長～

発災後1時間以内にやるべきことがここに！

〇〇〇〇避難所 2020年12月17日作成

## 一番最初にこの箱を開けたあなたへ

1. この「指示カード」を必ず声に出して読む

声に出して  
読みましょう



2. あなたが、被害にあわずご無事で良かった
3. 大きく「**深呼吸**」しましょう

声に出す



あなたは 仮の本部長 です

1. 今からあなたが、仮の本部長です

この指示カードをゆっくりと順番に声に出して読んで  
そのとおりに行動します

安心して下さい。難しいことはなにもありません  
本当に本部長となるべき人が来るまでの仮の役割です

2. 本部班セットから黒ペンを取り出す

声に出す



## 2次災害に気をつける

1. この避難所【南部プラザ】は【●分後に最大●●m】の津波の危険あり  
津波の危険があるときは2階以上に避難所を開設する
2. 余震や火災があったら「危険な物から離れろ！」と大声を出し、身を守る

避難所に火災や倒壊の危険が生じたら35ページへ

声に出す



## ベストとマスクを身に着ける

1. 本部班セットのベストのうらおもてにカタカナで自分の名前を書き、身に着ける



ひもは上部を  
切って結ぶ

2. マスクを取り出し、身に着ける

声に出す



## 2人に声をかける（安全班・住居班）

1. 市役所職員以外のだれでもいいので周りの2人に  
「避難所開設に協力してください」と声をかける
2. 「体調不良はありますか」と聞き、あれば別のの人に声をかける
3. ①安全班、②住居班の順で箱の中にある各班のセットを2人に渡す

声に出す



## 住居班への指示の流れ

本部長より指示	作業	左の作業の完了報告があれば○を書く	次の指示
安全班による避難スペースの安全確認が終わったら、 <u>検温消毒</u> をして住居班に住居区画の設営開始を指示する	避難スペースの住居区画と受付を設営する （30分以上かかる）	避難スペースへの受け入れが可能となります	班長は手順書のとおり行動してください <u>検温消毒の準備ができたなら避難者の受け入れ開始</u>

住居班タグ

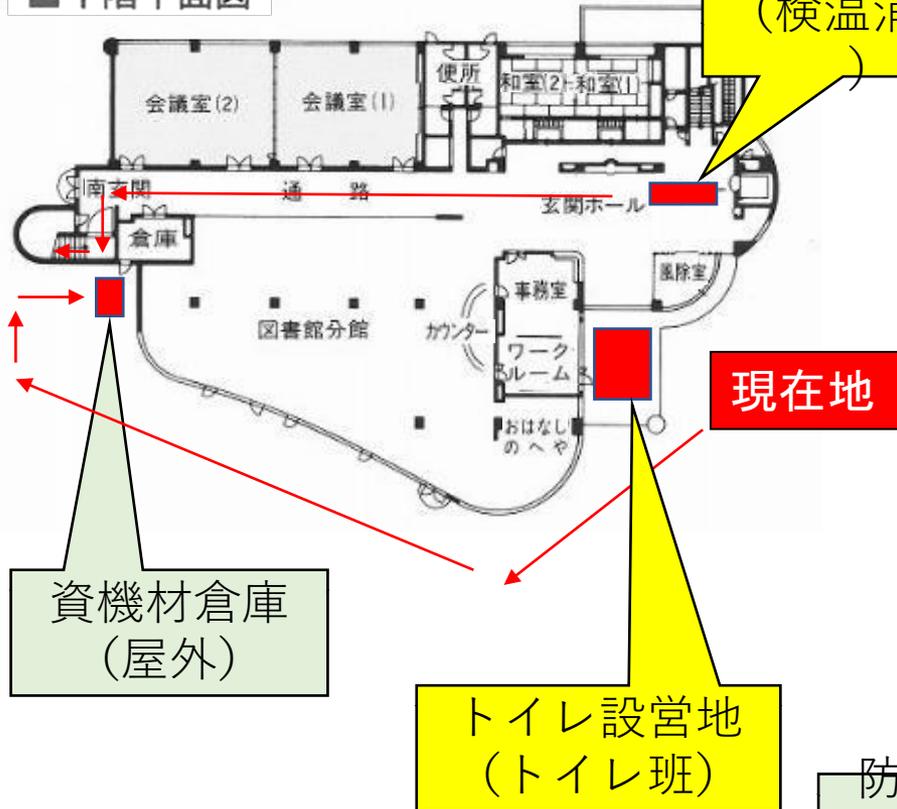
確認したら次のページに移る。報告があれば再確認する

声に出す

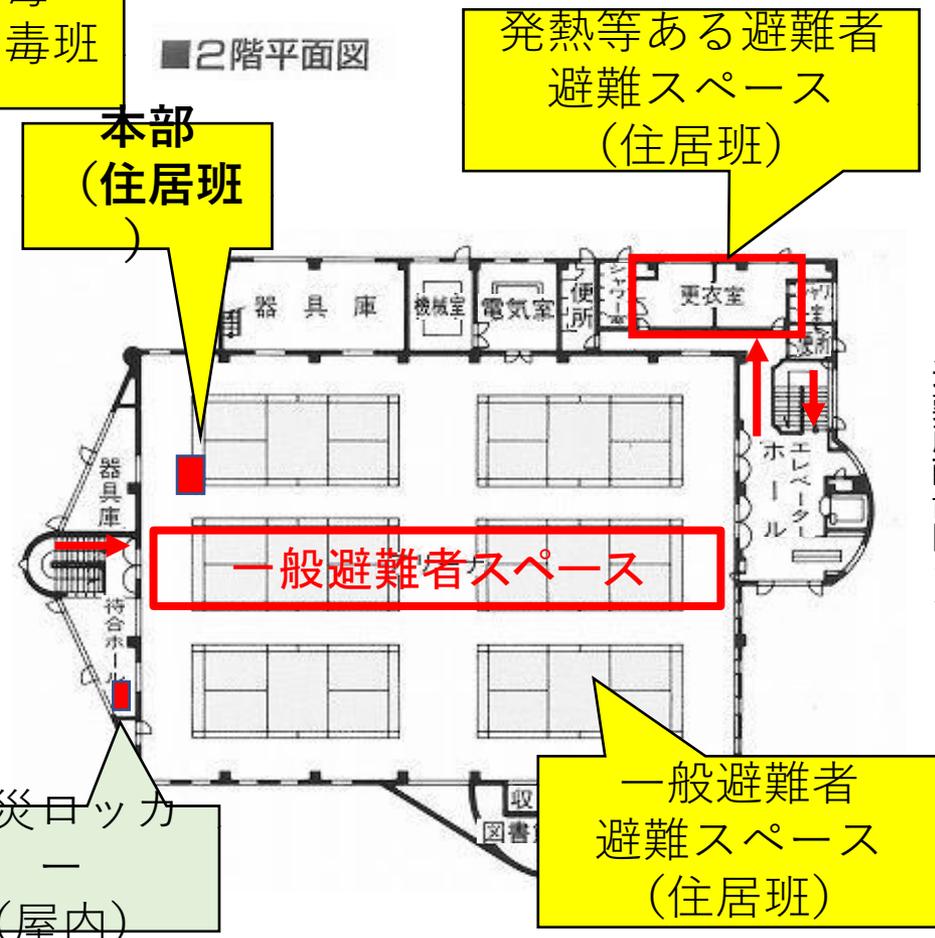


# 避難所の配置（想定）を把握する

■ 1階平面図



■ 2階平面図



避難所配置図タゲ

確認したら次のページに移る。想定と違う場合はメモする

# FMBの運用の仕方

- ① 『FMBが完成したら、  
FMBを使った訓練をする』  

- ② 『指示書の内容通りに動けるかを確認』  

- ③ 『指示書の改善点を明確にする』  

- ④ 『指示書を修正する』  

- ⑤ 『修正した内容でもう一度訓練してみる』

